

夏の風物詩「うかい」開幕

うかいの開幕式が6月1日(土)、うかいレストプラザ前の河原で行われました。

開幕式で大洲市観光協会の藤岡周二会長は、「今年も日本三大うかいの一つである大洲のうかいが始まります。みなさんが利用しやすいように周辺を整備し、より多くの人がうかいを体験できるように努めたい」とあいさつしました。

続いて二宮市長は、「全国から多くの支援があり、今年もうかいを開幕することができた。62年の歴史を持つ大洲のうかいが、復興の弾みになるよう、全国に向けてPRしていきたい」と祝辞を述べました。



開幕式終了後、約2000人の乗船客は、18隻の屋形船に乗り込み、川下りを楽しみながら船内で料理を味わいました。

辺りが暗くなると、かがり火をともした鶺鴒船がゆっくりと下り始め、鶺鴒と連携した鶺鴒は元気にアユを追いかけました。

屋形船からは、鶺鴒がアユを捕らえるたびに大きな歓声が上がりました。終盤には、約300発の花火が打ち上げられ、うかい開きに花を添えました。

大洲のうかいは9月20日(金)まで楽しむことができます。今年の夏は、大洲が誇る郷土文化「うかい」を楽しんでみませんか。

華麗なパドルさばきを披露

第5回鹿野川湖カヌー大会が、6月2日(日)、鹿野川湖漕艇場で開催されました。

開会にあたり「被災地となったこの場所でカヌーができることに感謝して戦い抜くことを誓います」と選手宣誓が行われ、競技が始まりました。大会には、県内外から多くの参加者が集まり、外国人や国体選手も出場しました。

当日はあいにくの雨で気温が低い状況でしたが、選手たちは寒さを感じさせない力強いパドルさばきで熱い戦いを繰り広げました。



四国西南サミット 開催

第30回四国西南サミットが、5月9日(木)、市内で開催されました。サミットには、愛媛県と高知県から14市町村が参加し、市長や議長など約60人が出席しました。

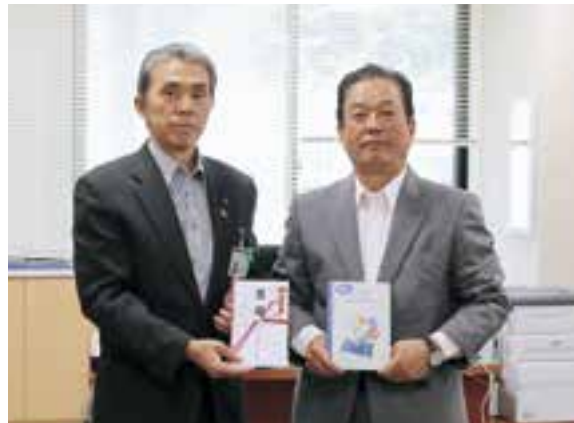
西南サミットは、共通の課題を持つ四国の西南地域の自治体で構成され、課題に対する取り組みを研究する目的で毎年開かれています。今年度は、官民連携に関する勉強会の開催や、防災対策の取り組みについて情報の共有・協議が実施される予定です。



ネットに潜む危険を知る

(公財) 日本公衆電話会による「ネット安全ガイドブック」の贈呈式が、5月13日(月)、市役所で行われました。この事業は、中学生を対象に、インターネットを利用する際のルールや危険性などを習得させることを目的に、全国の中学校などへ配布されています。

日本公衆電話会四国統括支部長の間島実さんは「インターネットを取り巻く環境は日々変化している。中学生が被害者にも加害者にもならないよう、冊子を活用してほしい」とあいさつしました。



水防技術の向上を目指して

出水期や台風シーズンを前に、肱川水防工法訓練が、5月19日(日)、肱川河川防災ステーションで行われました。

開会にあたり、矢野正祥消防団長が「毎年行われるこの訓練で、しっかりと基礎を学び、いざという時には、水防工法を実践して市民を守ってほしい」とあいさつしました。

訓練には、消防団員や自主防災組織の構成員ら約170人が参加し、水防に関する知識や技術を高めました。



大洲市民生児童委員協議会総会・研修会が開催されました ～広げよう 地域に根ざした 思いやり～

大洲市民生児童委員協議会の令和元年度総会が、5月8日(水)、大洲市総合福祉センターで開催されました。開会にあたり西尾和子会長は、「安心して住み続けることのできる地域社会づくりこそが、災害時などに生かせるのではないかと考えている」とあいさつしました。続いて、現職で10年以上の在任期間がある委員へ、全国民生委員児童委員連合会会長表彰の伝達が行われました。また、現職で15年以上の在任期間があり、過去に県知事または県社会福祉協議会会長から表彰された委員へ、全国社会福祉協議会会長表彰の伝達が行われました。次に、通算6年以上在職で、特に功績が顕著な委員へ、二宮市長から表彰状と記念品の贈呈が行われました。



総会終了後には、東予子ども・女性支援センターの児童福祉士である山内幸春さんが講師を務め、児童虐待の防止について研修会が開かれました。参加したみなさんは、今後の活動に役立てようと熱心に耳を傾けていました。

【全国民生委員児童委員連合会会長表彰】(敬称略)

笹山 允 (肱南地区)	上野 信明 (肱南地区)
柿見 純一 (肱北地区)	大野 昭洋 (平地区)
佐々木 亜紀子 (平野地区)	出水 邦子 (菅田地区)
富永 綾子 (菅田地区)	東 干尋 (菅田地区)
大下 瑠美 (大川地区)	須内 義美 (八多喜地区)
松岡 伸博 (上須戒地区)	兵頭 常廣 (長浜地区)
大塚 薫 (長浜地区)	高屋 君廣 (長浜地区)
西村 弘美 (長浜地区)	

【全国社会福祉協議会会長表彰】(敬称略)

井上 和子 (南久米地区)

【大洲市民生委員及び児童委員表彰】(敬称略)

松本 圭典 (平地区)	橋本 誠子 (平地区)
中塚 志保美 (大川地区)	田淵 純一 (長浜地区)

ハンドメイドの魅力を通じて

4月25日(木)～27日(土)に東京ビッグサイトで開催された「ハンドメイド・メイカーズ2019」で、帽子^{あき}秋さんが「第2回MAKERS' AWARD」ゴールド賞を受賞しました。このアワードは、ハンドメイドに携わる人への一つの指標を示し、さらなる手づくりの付加価値の向上を目指して実施されています。

帽子さんは、「今回の受賞は、出展作品だけでなく大洲市でのさまざまな活動も評価されていた。これからも、作品を通して、大洲市の名を全国に広めていきたい」と喜びと今後の抱負を話しました。



大洲の復興を応援

シンガーソングライターである大澤^{よしゆき}誉志幸さんの大洲公演が、5月11日(土)、バー & カフェ ROY'S^{ロイズ}で開催されました。平成30年7月豪雨で被災した大洲に元気と勇気を届けようと、この公演が実施され、県内外の各地から約70人のファンが集まりました。

公演では、大ヒット曲「そして僕は途方に暮れる」をはじめ、いくつもの名曲が披露され、集まったファンを喜ばせました。この公演の収益金は義援金として大洲市に寄付されるなど、復興への思いが詰まったライブになりました。



高齢者叙勲



瑞宝双光章

ゆく た ひさし
往 田 尚 さん
(西大洲)

元八幡浜公共職業安定所長

往田さんは、長年にわたり労働行政事務業務にご尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。

長年の功績を称えて

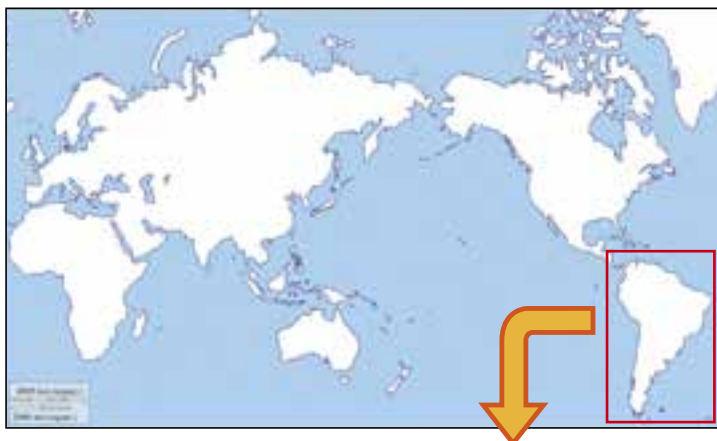
令和元年度行政相談委員全体会議が、5月16日(木)、松山市の「にぎたつ会館」で開催されました。会議では、大洲市の行政相談委員である今宮^{まさし}雅司さんが、総務省愛媛行政監視行政相談センター所長から感謝状を受け取りました。

今回の贈呈は、今宮さんが住民からの行政に対する苦情や意見、要望などを受け付け、その解決や実現のために地道な活動を行ってきたことが認められたものです。



※スペイン語で「なるようになる」の意味

青年海外協力隊 梶谷 沙紀 さん



「Hola!」(スペイン語でのあいさつ) 初めまして、梶谷沙紀です。私は、現在エクアドルにて環境教育を行っています。このシリーズでは、エクアドルでの活動について紹介していきます。

エクアドル



人口：1,363万人
面積：28.4万km²
首都：キト
公用語：スペイン語



【エクアドル】
アフリカのエチオピアではありません、バナナでお馴染み、南米のエクアドルです。他にもカカオやコーヒー豆の産地としても有名です。Ecuadorは赤道を意味し、言葉通り赤道線上に位置しているため日差しがとても強いのです。また、観光地としても大人気なガラパゴス諸島があり、野生のアシカやリクガメ、ウミガメを見ることが出来ます。



【環境教育】
主な活動として、学校や地区の集まりにおいて3R(リデュース・リユース・リサイクル)や生ごみコンポスト(有機堆肥)の紹介を行っています。といっても、発表できたのはまだ数回…。直前にキャンセルとなることも多く、環境問題について関心を持ってもらうためにはどうしたらよいか、日々格闘しています。
どこに行っても「チャイナ(中国人)」と呼ばれる毎日。ちなみに、日本人は中国語を話せると思ってる人が多く、言語が違うよと伝えると毎回驚かれます。南米はスペイン語地域が多いため、国によって言語が違うのが不思議なようです。



今回は、生活やエクアドル料理についてお話ししたいと思っております。それではまた次回。

【追記】

去る平成30年度7月豪雨に際し被害に遭われたみなさん、心よりお見舞い申し上げます。

その際に、長野県の駒ヶ根訓練所において、2018年度2次隊JICA海外協力隊有志一同にて募金活動を行い、大洲市へ寄附させていただきました。

梶谷 沙紀

地域医療の未来を考える

～医療の現場から～ No.1

市立大洲病院



市立大洲病院は、昭和22（1947）年に、大洲町国民健康保険病院として開設され、大洲喜多地区における地域の中核病院として、長年にわたって市民のみならず、に利用されています。診療科目は11科（小児科・産婦人科は休止中）があり、内科・外科・整形外科・泌尿器科・眼科については、入院患者を受け入れています。

平成30年度の外来患者数は、約8万2500人で、入院患者数も、

3万人を超えています。

市立大洲病院では、7対1の看護体系のもと、在宅復帰支援のための地域包括ケア病棟や急性期病棟などの体制で入院患者の受け入れを行っています。また、院内には「総合患者支援室（平成16年4月）」が開設されていて、入院時における医療・介護機関と連携したサポートが提供されています。

診療科目	内科・外科・整形外科・泌尿器科・眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・神経内科
診療受付時間	午前8時15分～11時30分
休診日	土日祝日および年末年始
住所	〒795-8501 西大洲甲570番地
電話番号	0893-24-2151
公式HP	http://www.ozuch.jp/

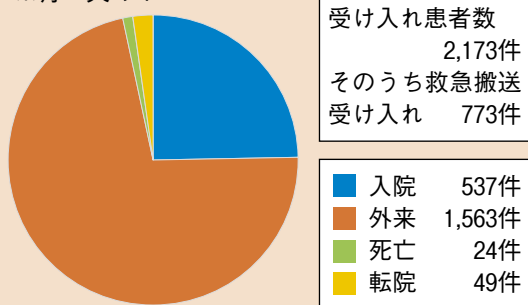
救急患者受け入れ体制・概要・現状

市立大洲病院は救急告示病院として、救急患者の受け入れを行っています。大洲喜多地区内の病院で構成する輪番制では、毎週月曜日と火曜日を担当しています。また、火曜日の夜間帯は、広域で八幡浜地区からの受け入れも行っていきます。

平成30年度の救急受け入れ患者数は約2千人であり、35パーセントの773人が救急車での搬送によるものです。これとは別に、水曜日から日曜日の救急当番以外の日にも、797人の救急搬送患者の受け入れがありました。

平成30年度救急患者受け入れ概要

※月・火のみ



また、市立大洲病院は公立病院でもあることから、災害発生時の医療救護活動拠点としての役割を担っています。公立病院災害医療コーディネーターの李 医局長を中心に、地震災害などの不測の事態に備え、適切な体制を構築し、災害発生時には速やかに救護体制を整備し傷病者の受け入れができるよう努力しています。



日頃から医療の意識を高める

日本は現在、人口減少とともに少子超高齢社会を迎えています。大洲市においても出生数が減少傾向、死亡数が増加傾向にあるため、人口が「自然減」となっています。

このような状況の中、地域のみなさんの元気で安全・安心な暮らしを守るため、私たち市立大洲病院では医療の提供に努めています。

市立大洲病院の救急搬送者数は、年々増加傾向にあります。人口減少と高齢化に伴う有病率【病気の患者数を人口で割った値】の上昇が起因していると思われま。救急車を利用する人は、今後も増えていくと予想されますが、その理由の一つに、



市立大洲病院 看護部長
認定看護管理者

山中 志麻 さん

近年の高齢者世帯の増加や核家族化により、病気に関して相談できる身近な人がいないケースが挙げられます。不安な気持ちが高まり軽症であっても受診する人や、反対に重症であっても近所に遠慮して救急車の利用を選ばない人もいます。救急医療は、重症の患者様を最優先して治療できるように、みなさんのご協力をお願いしています。

また、救急医療の現場では、治療を行うに当たり、重い決断を即座に求められることもあります。万一のために、自分や家族の思い・考えを日頃から話し合っておくことは、とても大切なことの一つと考えます。

市立大洲病院では、救急医療に頼らない健康づくりを目指し、さまざまな事業に取り組んでいます。看護部では、認定看護師による地域サロン事業や出張講座などにより、健康情報をみなさんに提供して、参加者に喜んでいただいています。救急医療を受ける前に、定期検診や早期の受診をお勧めして、重症化を防ぐ働きかけも行っています。これからも大好きな大洲市でいきいきと暮らし続けるために、自分の健康について私たちと一緒に考えていきましょ。

救急医療の

質の向上を



市立大洲病院 看護部 看護主任
救急看護認定看護師

向井 直基 さん

私は、7年前に「救急看護認定看護師」の資格を取得しました。認定看護師とは、特定の看護の分野において、熟練した看護技術や知識を有すると認められた看護師のことです。現在、市立大洲病院には、4人の認定看護師が勤務し、水準の高い看護を行っています。

認定看護師の役割のひとつに、医療職員への指導があります。院内研修では、患者様の予期せぬ容態急変の対応や、救命技術の向上を目指し、職員全員で適切な救急医療が提供できるように努めています。

週2回の救急日の日中は、救

急対応要請に備えています。救急隊からの連絡が入れば直接情報を受け、医師、看護師長などと情報共有を行い、迅速かつ万全な受け入れ準備を実践しています。

しかし、深刻な医師不足にある当院においては、救急担当医師は通常診療や検査などを行っているため、救急対応時は、それらを中断する必要があります。そのため、私は、救急看護認定看護師として、救急隊からの情報を基に、どの診療科の医師の診療を必要としているかを予測し、救急受け入れに備えています。

また、市立大洲病院では、昨年度から、院内トリアージを導入しました。院内トリアージとは、同時に複数の患者が来院した場合、緊急度と重症度によって治療の優先順位を決定することです。救急患者数が増加し、さまざまな患者様が救急外来におとされる中、トリアージの重要性は増しています。今後も大洲市民のみなさんが、バランスよく適切な救急医療を受けることができるよう、医師をはじめとした医療職員と連携し、支援していききたいと思えます。

国土交通省大洲河川国道事務所・山鳥坂ダム工事事務所だより

鹿野川ダム夏休み見学会

ダムを知ろう ダムを作ろう

鹿野川ダムでは、夏休みに小学生とその保護者を対象に、ダム見学会を開催します。

この見学会では、普段入ることができないダムの中や、操作室、機械室を見て回ることで、ダムを内側から知ることが出来ます。また、パークラフトでのダム工作イベントも実施する予定です。ぜひ、今年の夏休みは鹿野川ダム見学会へお越しください。



ダム内部見学の様子

【開催日】 7月28日(日)

【場所】 鹿野川ダム管理庁舎
(大洲市肱川町山鳥坂280)

【集合時間】

▽午前の部 午前8時45分

▽午後の部 午後0時45分

※所要時間3時間程度

【対象・定員】

午前の部、午後の部でそれぞれ小学生20人とその保護者となります。

【申し込み期間】

7月8日(月)～17日(水)

平日午前9時～午後5時

【申し込み方法】

参加申込担当者まで電話にてお申込みください。

【注意事項】

階段の多い場所や足元の悪い場

所を歩きますので、動きやすい服装でご参加ください。

台風などで鹿野川ダムが洪水対応を行う場合、中止となる可能性があります。

応募者多数の場合は先着順となります。その場合、定員に達した時点で予約を締め切りますのであらかじめご了承ください。

広報活動を目的として、見学会の様子を撮影し、ホームページなどで利用する場合がございます。

【申し込み・問い合わせ先】

山鳥坂ダム工事事務所

☎3430000

担当者 西山・岡川

(内線315・312)

野鳥



ウミウ (海鵜)
カツオドリ目 ウ科
全長 84cm
翼開長 133cm

北海道から九州の広い範囲で生息するウの仲間です。岩礁のある海岸部に生息するため、ほとんど河川に入ることはなく、普段見かけるカワウとは住み分けしています。そして、全国に知られる「水郷大洲のうかい」や、他県で行なわれている鵜飼いのウは、すべて「ウミウ」です。日本では1,300年も前から鵜飼いは始まっていたようですが、古来より中国でも行なわれていたようで、身近にいたカワウが使われています。

鵜飼いは、魚を丸呑みして、傷つけずに捕獲するウの性質を、上手に利用した狩猟だと思えます。昔は、余るほどは猟もせず、資源を大切に共存在していましたが、現代ではより効率の良い網や仕掛けで、大量に捕るのが当たり前になりつつあります。獲る側も、獲られる側の生態を考えて、未来のことを思えば、もっと資源を豊かにできるような気がします。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト

文化財



木造阿弥陀如来立像
大洲市指定有形文化財(彫刻)
寿永寺所蔵

慈覚大師の作と伝えられるこの木像は、元々は大洲市中村の安西堂に安置されていましたが、現在は寿永寺に移されています。

本像は、ヒノキとみられる針葉樹の一材から作られていて、像高96.7cmで、椀型の肉髻(仏像の頭頂上の隆起した部分)、伏し目がちの穏やかな表情、両脚間の衣文がX字形になっている点などが12世紀の典型的な仏像の作風を表しています。

仏像が大量に造られたこの時代、とくにこのくらいの大きさの像はおびただしい数が造られますが、本像は、そのなかでもとりわけ洗練された出来栄で、市内にある阿弥陀如来立像の中でも最も品位の高い仏像であると言えます。

(昭和46年7月30日指定)